

Npop'n

vol.67

えぬぽっぷん



NPO POP NEWS 略して『Npop'n』！

新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したポップな話題をお伝えします！

効果的なソーシャルメディア広報活用術を学ぼう

広報にウェブの活用は欠かせません。今号では11月15日と22日に開催した「ウェブを活用した広報講座」の内容をご紹介します。この講座ではウェブを活用した効果的な広報の考え方と、さまざまなウェブツールの概要・特徴、使い方や注意点などを学びました。

◆講師 永 順太郎（えいじゅんたろう）氏

（ヤフー株式会社 SR推進統括本部 社会貢献事業本部）

◆第1回目 ウェブを使った団体活動のプロモーションとソーシャルネット活用に関して

ウェブを活用して社会貢献活動団体が広報を行うことは非常に重要です。ただし、ウェブを活用する際に気を付けるポイントが3つあります。

- （1）ウェブの世界は自発的な発信力が必要であるとともに、欲しい情報は自分自身で探しに行かないとにたどり着けない場です。
- （2）ウェブは公の場なので、オフィシャルの発言であることを意識してください。また情報公開する前に第三者による確認を行い、NGワードも事前に団体内で決めておくことが大事です。
- （3）良いニュースも悪いニュースも公平に扱い、正しく情報を発信してください。

ソーシャルメディアを活用して団体活動を広報する際、自分の目線だけで発信すると誰にも気付かれないままに終わってしまいます。団体活動の情報を効果的に知ってもらうためには、世の中の多くの人々が興味あるキーワードと絡めて伝える発想が重要です。その際、興味関心を引き出す6つのテーマ（普遍、議論、予想外な展開、共感・納得、冒頭誘引、一言）と、その時々で意識した方が良いリアルタイムなキーワードを用いて、団体として伝えようとしている内容とマッチするように考えて発信することが大事です。キーワードは情報検索サイトのリアルタイム検索機能などで調べることができます。

また、拡散力のある人物である「インフルエンサー」に情報が届けば、その人と繋がっている多くの「フォロワー」の人たちにも情報が届くこととなります。そのため、自身の活動に即したインフルエンサーとの関係性を維持する事がとても重要になります。

もしも団体の広報活動で「炎上」と呼ばれる問題が発生した場合、一度情報を出したら消すことは得策ではありません。途中経過も含めて誠実に対応状況を回答し続けることが、最終的には良い結果を生みます。

新しい発想で新しい人たちに情報を届ける考え方を意識して、心に残ったり信用してもらうための発信を続けることが大事です。広げたい、伝えたい気持ちがあれば、自然と情報は広がっていきます。

団体活動を広報するための主なウェブツールとしては、Facebook、Twitter、Instagramなどがあります。1つのアカウント＝「1人の人」、すなわちアカウントには人格があるので、情報を発信する時は慎重に行ってください。使用するツールも状況に合わせ、選択することが大事です。



永氏
（ヤフー株式会社）



講義の様子

◆第2回目 団体活動に合った、さまざまなウェブツールの効果的な使い方

第1回目では、ウェブを使って「効果的に」情報を伝えるための考え方や、ウェブツール活用前のルールが大事であること、正しい情報を正しい場所に置いて、そこに誘導するのが重要であることを学びました。今回は様々なウェブツールの特徴と効果的な使い方について紹介します。

●Facebook

- ・団体のオフィシャル感を意識して使用するツールで、掲載できる情報量が多いため、活動を正しく伝えるために利用する。
- ・発信した情報の賞味期限は約24時間程度と考えて、2~3日経っても、「いいね」が無い時には、コメントを追加していく形で更新する。
- ・1つの投稿を大切に扱って繋いでいく方が良い。
- ・タイトル周りは短く、目的を明確に記載する。
- ・本文は冒頭で情報が見たくなるような誘導文言を記載する。
- ・「いいね」してくれた方には「いいね返し」をし、相手の投稿にもコメントすることで親密度が増す。
- ・誰に届けたいかを意識して、#タグを活用する。

●Twitter

- ・更新頻度が早く、Facebook掲載内容を拡散させるための二次的支援ツール。
- ・Facebookよりは軽い関係性を保つためのツールで、表示可能な140文字の中で、如何にFacebookやホームページの内容を伝えるかがカギとなる。
- ・投稿日時（平日、週末など）により繋がりが大きく変わるので、投稿のタイミングを意識する方が良い。
- ・リツイートされやすいよう、情報量を意識して冒頭誘引を狙う。

●Instagram

- ・おしゃれで感度が高く、利用者も多いツール。
- ・写真投稿が80%、その方向性でのブランディングを意識した方が良い。
- ・写真が主となるため、ユーザーが共感/フォローしたくなる理由があるかという客観的な視点を意識した方が良い。
- ・誰に届けたいかを意識して、その人の興味を引く#タグを活用する。

●LINE@

- ・無料アカウント利用では、企業、団体からの一括送信可能なツール。
- ・キャラクタースタンプなどの活用で親密な関係性を構築する事も可能。
- ・リアルタイムにユーザーとコミュニケーションができるため、囲い込むような活用には向いているが、担当者の運用スキルが重要となる。

ウェブツールの紹介後、各自の団体情報を、より効率的に広報するための話し合い（グループワーク）を行い、講師から以下のようなコメントを頂きました。

- (1) 直接届くルートが無い場合、届けたい人の周囲にいる人を經由して伝える方法を工夫する。
 - ・10代なら、興味のある人気タレントを經由して情報を伝える等
 - ・シニア世代ならウェブツールを使える同居者経由で情報を伝える等
- (2) 答えは1つではないのでいろいろ想像させて来たくなるように工夫する。



団体情報発信に関する
質疑応答の様子



グループワークの様子①



グループワークの様子②

新宿NPO協働推進センターをご利用ください。

「利用料金が安くて使いやすい！」

当センターにはいろいろな会議室があります。例えば「101会議室」は、定員が18名と少人数の利用に適しており、利用料金は午前（9:00～12:00）の場合 600円です。

※登録団体（減免認定団体）は半額の料金で利用することができます。

※利用方法など詳細に関しては、HP (<https://snponet.net>)をご覧ください
くか、又は当センター（03-5386-1315）までお問い合わせください。

※施設の利用には①社会貢献性 ②非営利性が求められます。



101会議室（定員18名）

❖当センターの利用団体を紹介します❖

《 NPO法人10代・20代の妊娠SOS新宿ーキッズ&ファミリー 》

“性”に関するSOSに寄り添い、若者・子どもの命と家庭を守る

「あなたは、ひとりじゃない。振り返った時に私たちがいる」ことを発信し「望まない妊娠」や「性被害」等の悩みを、ひとりで抱え込まないで相談できる窓口を目指して、活動を行っています。

2019年2月14日(木) 18時45分～20時45分 当センターで行われる「市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます。関心のある方は是非ご参加ください。

場 所：当センター4階 401会議室

語り手：NPO法人10代・20代の妊娠SOS新宿ーキッズ&ファミリー

参加費：1,000円

問合せ：新宿NPOネットワーク協議会

【電話】03-5206-6527

【Email】hiroba@s-nponet.net

当センター利用団体のイベント情報

イベント情報は各団体のHP等より入手して掲載しております。お問合せは各団体をお願いいたします。

新宿NPOネットワーク協議会

「小滝橋ひろば～グラウンドゴルフ」

日時：2019年2月3日(日)、17日(日) 10:00～12:00

場所：新宿NPO協働推進センター 多目的グランド
(新宿区高田馬場4-36-12)

参加費：500円

問合せ：新宿NPOネットワーク協議会

【電話】03-5206-6527

(第2火曜日を除く11:00～18:00)

【Email】hiroba@s-nponet.net

* 雨天の場合は中止といたします。



新宿区ウォーキング協会 第168回例会

「港区散歩 晩冬の浜離宮庭園へ」約10km

日時：2019年2月12日(火) 受付：8:40～9:00

集合：四谷見附公園

(最寄駅：JR・東京メトロ丸の内線/南北線「四ツ谷駅」赤坂口)

解散：浜離宮庭園 12:30頃予定

(最寄駅：都営大江戸線「汐留駅」「築地市場駅」)

JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」)

参加費：一般400円、会員無料

問合せ：新宿区ウォーキング協会

【電話】090-3217-4109 【FAX】03-3208-3531



国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター

第15回ワークショップ

「あなたにもできる自殺防止活動の実際」

日時：2019年2月16日(土)10:00～16:30

場所：飯田橋レインボーホール2階 中会議室
(新宿区市谷船河原町11)

参加費：5,000円(昼食は各自お取ください)

申込締切日：1月31日(木) 定員：35名

問合せ・申し込み：東京自殺防止センター事務局

【電話】03-3207-5040(平日10:00～17:30)

【FAX】03-3207-5098

【HP】https://www.befrienders-jpn.org



粋なまちづくり倶楽部

第4回「神楽坂検定 初級・中級」

日時：2019年2月24日(日)

初級 11:00～11:45 中級 14:00～14:45

場所：東京理科大学 森戸記念館 2階 第一会議室

(新宿区神楽坂4-2-2)

受験料：初級 1,000円 中級 2,000円

定員：各50名 申込締切り：2019年2月8日(金)

問合せ：粋なまちづくり倶楽部 申込：メール又はFAX

【電話】03-3558-6260 【FAX】03-5261-3464

【Email】ikimachi.kentei@gmail.com



<イベント情報掲載募集>

- ◆対象期間：2019年3月1日(金)～3月31日(日)
- ◆募集締切：2019年2月5日(火)
- ◆対象団体：当センター登録団体、一般利用団体
- ◆掲載件数：最大7件(1団体1件まで掲載できます。応募が多い場合は、当センターまたは新宿区内のイベント・登録団体のイベントを優先させていただきます。)
- ◆申込方法：タイトル、日時、場所、参加費、問合せ先を、新宿NPO協働推進センターまで、FAX又はメールにてご連絡ください。

新宿区民活動支援サイト“キラミラネット”をご利用ください

新宿区を拠点に行われている地域活動や社会貢献活動、趣味、サークル活動など、身近な地域活動の情報を一堂に集め、発信するWEBサイトです。現在、WEB会員を募集しています。(登録料は無料です)

URL: http://shinjuku.genki365.net/

問合せ：新宿区地域振興部

地域コミュニティ課

【電話】03-5273-3872

【FAX】03-3209-7455



センターからのお知らせ



交流事業

【NPOと行政における協働】

～やったからこそわかる！協働の重要性～

【日 時】 2月8日（金） 18:30～21:00

【内 容】 「協働」は行政が考えだした仕組みです。しかし、いざ「協働」を実践していこうとした時、どんなことが課題になっているのかなど、わからないこともあります。今回、区とNPOが行ってきた過去の協働事例からNPO、行政が協働していくために必要な条件やポイントについて両者で考え、お互いが負担が無く活動するためにはどうしたらいいかを探ります。

【プログラム】

＜新宿区協働事業助成について＞

新宿区地域振興部地域コミュニティ課

＜事例紹介＞

「高次脳機能障害者支援事業」

池田 敦子 氏（NPO法人VIVID 代表理事）、新宿区福祉部障害者福祉課

「地域防災の担い手育成事業」

合田 茂広 氏（一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター）、

新宿区危機管理担当部危機管理課

＜パネルディスカッション＞

ファシリテーター：山下 馨（一般社団法人新宿NPOネットワーク協議会 代表理事）

【会 場】 当センター 501会議室

【参加費】 500円



★参加希望の方は、電話、FAX、メールにて、センターへご連絡下さい。（下記問合せ先）

作成&発行

新宿区立 新宿NPO協働推進センター
指定管理者：一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会
(〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)
編集：西郷 和将 吉田 定信 三上 太紀子 菊池 直子
三橋 雅人 山下 あゆみ

情報・お問い合わせ

TEL：03-5386-1315 FAX：03-5386-1318
Email：hiroba@s-nponet.net
URL：https://snponet.net
Facebook：https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center

アクセス

- ・JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線『高田馬場』駅より徒歩15分
- ・JR中央線『東中野』駅『大久保』駅より徒歩15分
- ・西武新宿線『下落合』駅より徒歩12分
- ・東京メトロ東西線『落合』駅より徒歩12分
- ・都営大江戸線『東中野』駅『中井』駅より徒歩15分
- ・都営バス『小滝橋』、関東バス『小滝橋』より徒歩4分
(上69、飯64、橋63、飯62、宿08、宿02、百01)



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設としてオープンしました！
センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。